

令和4年度 いのちの授業 事例集（高校）【総合的な探究の時間】

掲載数

31

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市立	高2	総合的な探究の時間	未成年妊娠	未成年（16歳）での妊娠を題材とした映画を視聴し、「妊娠」ということについて考えるとともに、自分の周囲にいる友人や家族の大切さについても感じさせることを目的とした。 映画の主人公の不安や戸惑い、覚悟などを自分自身と置き換えながら考え、視聴する生徒の姿が見られた。	映画『JUNO（ジュノ）』
2 川崎市立	高3	総合的な探究の時間	心肺蘇生法	実技を交えながら、救急法・心肺蘇生法について学んだ。 胸骨圧迫を実施することで、どれだけ生存率が上がるのかを知ることで、そういった場面に遭遇した際、勇気を持って行動できるかがカギとなることを理解した。 実技の中でも、作業にならないように注意しながら、「もしもの時」を想定して動くように心がけていた。	日本赤十字社
3 神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	性感染症・デートDV防止	望まない妊娠や性感染症などの性に関する健康問題についての意識付けを図った。また、デートDVについて知り、考えることにより、現在の自分と他人との人間関係の築き方について考えた。 オンラインによる実施であったが、生命や性について学び、自分と他者を大切にしたい生き方を考えるよい機会となった。	講師は、昭和大学保健医療学部看護学科助産学専攻学科の教授
4 神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	平和学習	沖縄の戦時中の人々の体験談とその様子を描いたアニメの視聴を通して、戦争の残酷さ、命の大切さについて考える。	教材：NHKスペシャル「あの日、僕らは戦場で～少年兵の告白～」
5 神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	福祉学習	近隣にお住いの聴覚障がい者の方との交流を通して、福祉マインドの育成、命の大切さや人権について考える。	講師：港南区社会福祉協議会を通じて依頼した聴覚障がい者の方
6 神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	防災教育	不足の事態が起きた時に自助や共助ができるように知識を身に付けると共に、災害に対する準備を怠らない態度を身に付けることができた。生徒は災害時の身の守り方と同時に命の大切さと心を育む教育を行った。	日本赤十字社・防災ボランティアリーダー

7	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	健康安全教育	傷病者と遭遇した時に、手助けができるようになるための心肺蘇生の正しい行い方やAEDの使用方法を知識としてだけでなく、実技を通して技能も身に付けることができた。また、心肺蘇生法やAEDの必要性を学ぶことによって、不測時に対応できる態度を身に付けると同時に人の命を救うための行動について考える機会となった。	日本赤十字社・神奈川県支部ボランティア指導員
8	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	「いのちの講話」	・教員の父親の戦争体験を聞くことを通して、命の大切さを考えた。 ・映像「アース」の視聴を通して、生物の生き様を実感し、生態系を守っていくことの大切さを学んだ	HRごとにローテーションを組みDVD等を利用して学習した。
9	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	交通安全教室	自転車の安全な乗り方を中心に、乗り方によっては被害者にも加害者にもなってしまう可能性があることを知り、自分や歩行者の命に関わる状況が生じることへの洞察力や想像力を持つことの大切さを学んだ。	生徒支援グループによる講義を行った。
10	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	若年からの喫煙と受動喫煙の危険性について	喫煙による心身への影響、依存症、疾病との関連、社会への影響などについて理解を促し、適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力が身につくよう促した。また、自身の健康と喫煙することによる周りの人への影響について、具体的な数字や例を挙げて喫煙の危険性についてより深く考えさせた。	YouTube①健康な未来を決めるのは、あなた（未成年者喫煙防止教室動画） ②聞いて納得!!医療最前線：受動喫煙(2019.09)
11	神奈川県立	高複合	総合的な探究の時間	「わたしが定時制で学んだこと～そして現在」	本校卒業生で脳性麻痺のある方の講演会を行った。車イスによる生活で様々な場面で介助が必要であるが、小学校から普通学校で学び、障害の有無にかかわらず前向きに生きる姿勢を生徒たちに示してくれた。また、「合理的配慮」についても「配慮される側の気持ち」を含めて話され、生徒が障害者といかに向き合うかについて考える機会となった。	本校卒業生（3期生）
12	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	DIG	グループを作って学校周辺の大きな地図を囲み、交通機関や道路、浸水想定区域や公共施設などの避難場所を地図に書き込みながら、学校周辺地域の危険箇所、安全確保ができる場所を協働作業を通して確認した。こうした活動の中で、防災・減災意識を高めるとともに、いのちの大切さを改めて認識することができた。	防災士を招いての事前研修（教員） ワークシート DIG活動用パワーポイント
13	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	DIG	防災意識を高めるために実施した。 学校周辺の危険箇所や災害時に有用となる施設等を地図上から探し出し、いざという時に役立つ知識を身につけ、イメージしておくことの大切さを学んだ。 1年生は1人1台タブレットを持っているので、GoogleアプリのJamboardを使用して、デジタル上で実施した。	

14	神奈川県立	高複合	総合的な探究の時間	がん教育	神奈川県がん患者連合会から、実際に「がん」に罹患した経験を持つ講師を招き、「がん」発生のメカニズム、定期的な検診の重要性、「がん」と生活習慣の関連性などを学んだ。実際に「がん」に罹患した講師から、闘病の様子を分かりやすく具体的に紹介していただき、「がん」という疾患の全体像について把握することができた。事前・事後にアンケートを実施し、いのちと健康の大切さについて学習した。	講師： 神奈川県がん患者連合会職員
15	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	防災教育「DIG研修」	DIG研修の中で、実際にハザードマップを用いて災害発生時の状況を想定しながら、避難経路の作成や生活に必要な物資の確保などをどのように行うのかを深く考えることができた。また、実際に災害が起こったときに決して一人では生き抜くことはできず、周囲と協力することの大切さを多くの生徒が感じていた。 家族との避難集合場所や連絡方法なども考える時間にもなり、家庭生活のなかでも活かせる内容となった。	講師は市役所職員・地域ボランティア ハザードマップ、サインペン、付箋
16	神奈川県立	高3	総合的な探究の時間	『平和学習』特攻隊の事実について知る	戦争中の特攻から戦争の悲惨さといのちの大切さを考えた。第二次世界大戦が起こった背景を学習しつつ、『ユキ』という一人の少年に焦点を当てて当時の様子を感じ取った。数々の少年飛行兵が戦争末期に特攻隊としていのちを落とし、尊い命が奪われた事実を理解した。今回の学習を通して理解したことを事後学習として振り返りを行った。振り返りでは講師の方がどのような思いで講演されているかなど、より今回の活動の意義を考えさせるようにした。平和の貴さについて理解できたと考えている。	資料：『ユキ』は十七歳 特攻で死んだ』
17	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	「貧困問題」(SDGs学習)	・海外における児童労働を紹介したビデオを視聴し、児童労働の要因が貧困にあることと、日本など経済的に豊かな国の人々の生活とも結び付いていることを理解し、自分自身の生活とも比較しながら、世界から貧困がなくなるために自分ができることを考えた。 ・「不公平な椅子取りゲーム」を実施し、貧困に陥る背景には社会におけるさまざまな差別や格差が大きくかかわっていることを理解した。	2年 NPO法人「ACE」設立15周年記念映画『バレンタイン一揆』
18	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	SDGs	SDGs17のテーマについての探究活動、プレゼンテーションを通して、貧困、飢餓、健康と福祉など様々ないのちに関わる内容について日常、国内、国外へと目を向けるなかで、いのちの尊さについて深く知り、自己の学習だけでなく、他者の発表を聞くことによって、学びを深めることができた。	SDGs17のテーマについてグループの探究活動を進め、その成果をポスターセッション形式で行った。
19	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	東北震災講話	GoogleMeetで、講師による震災に関する実体験を含めた講話と震災に関する映像を視聴。ワークシートを用いて災害時に何が起きたか。また、自分たちが何が出来るのかを考えた。生徒は熱心に鑑賞し、災害時の自分の行動を考え、積極的に質問をしていた。	講師は、南三陸ホテル観洋の職員。

20	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	沖縄修学旅行の平和についての事前学習	<p>修学旅行における平和学習の意義を学び、予備知識を獲得するため調べ学習を行った。</p> <p>国内で唯一地上戦が行われた地に想いを馳せ、平和祈念公園やひめゆり平和祈念資料館等の資料を閲覧して読み込み、戦中の様子や、住民と日本兵が避難場所・野戦病院として利用した壕（ガマ）の役割などを学んだ。「資料館に展示されている亡くなった方の写真や言葉の数々、使っていた物やひめゆり学徒隊の所持品など、資料を見ているだけでどれも悲しく切なくて、涙が出そうになった」「戦争の悲劇や生き残った人々の辛苦は、平和な時代に生まれた私たちには到底想像もつかない」など、戦争で命を落とした人々、あるいは生き残りその苦しみを抱えて生きてきた人々に共感をする感想が見られた。</p>	<p>沖縄県平和祈念資料館ホームページ</p> <p>ひめゆり平和祈念資料館ホームページ</p>
21	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	災害図上訓練(DIG研修)	<p>4人1組でグループを作り、本校から最寄り駅である戸塚駅までの通学路に、災害時に危険な箇所を白地図にマークさせた。また医療機関や薬局、日用品の販売店など災害時に有用な箇所を地図を見て色分けさせた。これらの情報から、災害時に安全に移動できる経路を確認し、身を守るための地理的情報を理解する活動を行った。</p>	<p>白地図</p> <p>防災マップ</p> <p>マジックペン等</p>
22	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	沖縄戦における強制集団死(集団自決)の体験者の証言から命の尊さを考察する	<p>ニュース番組と新聞記事を資料に、沖縄戦体験者の気持ちを共有しながら、島の住民が自ら命を絶つようなことが起きた背景を探り、ロシアのウクライナ侵攻のニュース映像を見て、「命どう宝」の精神を後世に伝えていくために、どのようなことを考え行動すべきか?ディスカッションした後に、個人の意見を論じさせた。戦陣訓などを紹介して当時の教育が誤った価値観を持たせた一端を担っていたことなどに気づいた生徒もおり、失われていい命などない、という意識を共有するという目的が概ね達成できた。</p>	<p>独自作成教材『知る沖縄戦』（朝日新聞社）</p> <p>日本テレビ「NewsZERO」</p> <p>2007年8月7日8日</p>
23	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	人権教育「めぐみ」鑑賞	<p>人権侵害問題について、実際に起こった拉致問題について説明したのち鑑賞した。残された家族の苦悩や平穏な生活が突然奪われてしまった描写を受け、現在も解決されていないことも含めて、人権問題について生徒の関心と認識を深められた。</p>	<p>教材：アニメ「めぐみ」</p>
24	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	防災教育「DIG訓練」	<p>東日本大震災や、熊本地震など過去の災害時の状況を説明し、災害時の自分の行動について現実的に考えるように話をした。その後、それぞれグループに分かれ、地図を用いて、学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を探し出し、意見を交換しあった。災害時の活動に役立つ知識を身に付けるよい機会になった。</p>	<p>教材：学校周辺の地図・平塚市ハザードマップ等</p>
25	神奈川県立	高3	総合的な探究の時間	過労死問題からいのちを守る	<p>長時間にわたる過重な労働により、疲労が蓄積し、その結果、脳や心臓に疾患が生じ、最悪の場合、死に至るケースも報告されている。</p> <p>そこで、生徒は事前学習として、「過労」が原因で命を落とした事例を報じた新聞記事を読み、事例研究を行ったうえで、当事者のご遺族から話を伺った。</p> <p>生徒は、「過労死」の恐ろしさを知るとともに、過重労働からいのちを守るための心構えについて、真剣に考えていた。</p>	<p>講師：「過労」が原因で亡くなった方のご遺族及び労働問題に詳しい弁護士</p> <p>教材：「過労」が原因で命を落とした事例を報じた新聞記事</p>

26	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	いのちと性の講演会	生徒が命の尊さや性感染症を含めた性の問題に向き合い、自分や大切な人を守るためにどうすればよいかを考える際のヒントをえられるよう、講演会を行った。 生徒たちは講演に熱心に耳を傾けていた。講演会終了後、アンケートの記入を行ったが、性感染症等、性に関わる問題を身近なものにとらえ、今後の生き方に活かして行こうと考えた生徒が多くみられた。	講師：産婦人科医 教材：パワーポイントによるスライドショー
27	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	SDGs	SDGsのうち、特に貧困・飢餓、平等・平和、自然・環境をテーマに、年度当初から内容の学習及び11月の文化祭での調べた内容についての発表、学習をもとにした砂浜清掃、ペットボトルキャップの回収等の活動を行った。また、学習の集大成として、最寄り駅の駅前で募金活動を行い、命や地球環境の持続開発について、社会に訴えかけ、他者と協働することの大切さ学んだ。	
28	神奈川県立	高2	総合的な探究の時間	修学旅行事前学習講演会	修学旅行の事前学習として、戦争の恐ろしさと平和の大切さについて講演を受けた。講演では、写真を生徒に提示し、どのような場面での写真であるか考え、紹介をしていただき、すべての写真が戦争に関わる写真で見た目はきれいなガラスのように見えるが、その写真の裏側の真実を知ることによって戦争の悲惨さについて知り、生徒たちは非常に驚いている様子であった。講演後、生徒の感想では、「写真を見て、80年前の日本とは思えないくらいすごかった。」といのちについて考えるきっかけとなった。	写真家
29	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	思春期出前講座「命のはなし」	思春期のからだと心についての講演をうけた。思春期はからだは成熟する一方で、精神的な発達が進んでいない時期であり、精神的に不安定になりやすいということを知った。人が誕生し、成長する過程について話を聞いて、一人一人のかけがえのなさについても理解することができた。男女間の感覚の違いについての説明もあり、お互いの考え方が違うことを尊重して接することが大事であることを学んだ。講演をうけて、自身のことを考えるきっかけになった。	相模原市中央子育て支援センター職員
30	神奈川県立	高複合	総合的な探究の時間	防災教育「DIG訓練」「防災備蓄の確認」	1学年の時に、地震や竜巻等の様々な災害の危険を考える機会があり、その経験をもとにそれぞれの授業を行った。「DIG訓練」では、地震が起こった際に学校周辺にどのような危険があるかを、5～6人のグループで話し合いをした。大和市の防災マップを参考にしながら行い、学校の周りの危険について多くあることを発見した。「防災備蓄の確認」では、映像資料を用いて、万が一の時のためにどのような備えをするべきかをグループで話し合った。また、実際に学校にある生徒の備蓄を確認した。	「DIG訓練」は2学年、「防災備蓄の確認」は3学年で実施。 (参考資料) 大和市防災マップ、青少年赤十字防災教育プログラム まもるいのち ひろめるぼうさいのDVD教材
31	神奈川県立	高1	総合的な探究の時間	福祉体験防災教育人権教育	福祉教養コースで培ったノウハウと施設や設備を活用して、1学年職員全員で指導にあたった。福祉体験は「手話入門」「白杖体験」「インスタントシニア体験」「車椅子体験」「ポッチャ体験」「パラ競技体験」の6講座、防災教育は「DIG」「震災教育」の2講座、特別講座として「人権」1講座について取り組み、全体を通して生徒の人権感覚を養った。どの講座も生徒が楽しみながら実習に取り組み、人への思いやり、互いに支え合って生きることの大切さなどを真剣に考えることができた。	指導にあたる教員は、夏季休業中に実施された校内福祉研修をもとに準備を進めた。また、生徒を数名ごとのグループに分け、各講座の学習内容をもとにスライドを利用した研究発表を実施し、知識や技能の定着を図れるように心がけた。